

## エレファスゾウカブト

日本の虫ではありません。先日ホンジュラスから酒井さんに送られてきた写真です。和名をエレファスゾウカブトといいます。学名も *megasoma elephas elephas* とゾウが二つもかきなっていますから、世界最大といっているようです。体長は角の先からお尻の先までを計りますと大物で 120mm とされています。



世界最長といわれているヘラクレスオオツノカブトというのが大物で 160mm のようですから体長では劣りますが、体重では勝るとされているようです。



写真は 120:160 の比率で画像で調整して比較しました。ごらんの

ようにエレファスの方が角を除けば大きいことがわかります。



エレファスの分布は中央アメリカ地帯、メキシコ、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ、ベリーズ、パナマのようです。ゾウカブトの仲間 14 種、7 亜種もあるとされていますので、こんな大物がごろごろしている印象なのです。地球の多様さにいまさらながら驚かされます。

札幌のカブトムシは大物で体長が 65mm と {札幌の昆虫} ありますから概ね写真のような比較になります。

エレファスは図体に比して角が貧弱なのが特徴といえます。脱蛹直後は茶色の微毛が美しいが、段々とはげ落ちてうす汚れてくるようですが、そんなことはどうでもよく、ただただ大きさに魂消てしまいます。

エレファスが生息する範囲はホンジュラスの鳥の紹介でも触れていますが、鳥も凄く魅力がありますので、何度でも行きたいところです。地球の裏側なので簡単には行けませんのが悔しいですね。

北海道でカブトムシが繁殖していることは、我々が確認していることですが、昔はいませんでした。地球温暖化の指標となる生き物として観察の輪を広げる必要を感じます。